

坂東地域アグリ通信

平成30年1月22日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

あぐり一揆が「道の駅まくらがの里こが」で試食販売PRを行いました

12月16日（土）、「道の駅まくらがの里こが」において、古河市農業後継者クラブ「あぐり一揆」の会長である高橋氏が、自ら栽培したにんじんの加工品の試食販売を行いました。本取り組みは、あぐり一揆のプロジェクト活動である「ターボファームのにんじんプロジェクト」の一環として行われ、普及センターは、試食した方々を対象にアンケートを実施して、加工品に対する意識調査を支援しました。



試食には、にんじんドレッシング2種を使ったサラダと、にんじんジャムのクラッカー乗せを提供しました。多くの方が立ち止まり、高橋氏から、どのような想いで商品開発に取り組んだかを聞いていました。

試食した方々のアンケートからは、「見栄えもよく、おいしいので贈答用として購入したい」、「生産者の顔が見えて原材料が信頼できるものならば、ある程度の価格でも納得して購入できる」など、今後の活動のヒントとなる意見もいただき、消費者と直接触れ合うとともに、今後の活動のヒントを多数いただきました。



普及センターでは今後も、次世代を担う地域の若手後継者の活動を支援していきます。

坂東普及センターが6次産業化研修会を開催しました

12月19日（火）、坂東普及センターにおいて、普及センター主催で6次産業化志向者を対象に研修会を開催し、10名が参加しました。県の6次産業化プランナーである磯部典久氏を講師に迎え、「6次産業化の意義と推進する上での問題・課題について」と題した講演及び個別相談を行いました。また、境町の生産者5名でライスミルクジェラートを開発・生産している、(株)フェルミエ・オネットの高橋大希氏により、商品開発から販売までの取り組みを紹介して頂きました。



磯部氏からは、6次産業化が今後の収益性の向上に必要であることなど、丁寧なご説明を頂きました。高橋氏からは、商品開発までは試行錯誤の繰り返しで販売に至るまでに時間がかかったことや、万人受けを狙った商品ではないため、売り先をみつけるのに苦労をしている点など、貴重なお話を聞くことができました。

質疑応答では、6次産業化の取り組みに関する基礎的なことから、ライスミルクジェラートの今後の新たな展開についてまで、幅広い質問が出され、有意義な研修会となりました。

日本の農業の新たな展開の一つとして、国、県ともに6次産業化を推進しています。普及センターでは今後もこのような研修会の開催を通じて、6次産業化への取り組みを支援していきます。

農業には若さがある！

今回は、坂東市の野本 司（のもと つかさ）さんをご紹介します。野本さんは、ネギ、レタスを生産しており、岩井4Hクラブに所属し、後継者として活躍されています。

○どうして就農しようと思ったのですか？

太陽の下で、汗をかきながらできる仕事が理想でした。農家の出身ではなかったのですが、坂東市に住んでおり農業に触れる機会もあったため、魅力的に感じました。

○就農してから気持ちの変化はありましたか？

就農する前から農業を魅力的に感じていましたが、就農して、野菜作りは奥が深いことに気づき、今はこれまでに以上にわくわくしています。思っていた以上に楽しいです。

この地域は農業が盛んで若い人も多いので、切磋琢磨して頑張っていきたいと思っています。

○今頑張っていることや心がけていることはありますか？

とにかく疑問を持つように心がけています。飲み会などの席で色々なことを教えてもらい、勉強して、早く一人前になれるように頑張っています。

また、技術が足りない分を補うために、少しでも体を動かすようにしています。

○農業の魅力や辛いことは何ですか？

魅力は、自然の中で作業ができるので、気持ちが良いことです。心が洗われるような気がします。また、苗づくりから始まって、定植や管理を経て、野菜ができた時の達成感は何にも代えがたいものがあります。

また、仕事をしていると辛いこともあります。やればその分返ってくると思っていますので、頑張れます。

○これからの目標はなんですか？

とにかく1作1作で結果を出すことが目標です。自分自身、納得がいく野菜を作りたいです。

○最後に一言お願いします。

まだまだ新人で、気持ちに技術がついて行っていない部分も多いです。皆さん、色々勉強させてください！



2月 土壤診断実施日のお知らせ

土づくり推進のため土壤診断を受け付けています。個人等の農家の方が対象です。

2月8日（木）

2月22日（木）

※実施日は変更になることがありますので、ご了承ください。また、結果のご連絡には数日かかる予定です。

編集後記

皆様、今年もよろしくお願いいたします。年末年始は、何をして過ごしたでしょうか。わたしは、いわゆる、寝正月というやつでした。仕事をしている時には連休が欲しくなりますが、いざ連休になってみると、やりたいことが出てこないものです。もったいない。今年新しい趣味を見つけたいです。（鹿島）